

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320236	XZY2320236			国際学部国際文化学科	専門	選択必修	3年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	3年
		1	前期	情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 4 bA	朱 繼征			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×

授業目的

この授業は中国語の人文・社会科学分野の文献、新聞記事やテレビニュースなどを理解することを主な内容とし、一層高いレベルの語学力を身に付けさせる。この中で、中国語の聴解力、会話力、読解力、作文力などの総合的運用能力を高め、中国語検定試験4~3級合格、HSK(漢語水平考試)3~5級合格を目指す。授業には、中国語と日本語の異同についての説明及び通訳・翻訳の訓練においても、日本語の使用を最小限にするが、単語、本文と文法の説明及び討論会、発表会と授業での指示を基本的に中国語で行う。映画による理解力向上の方法も導入する。

各回毎の授業内容

第1回

【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前なし。事後は、よく復習して聞く、話す、読む、書くなどの面で練習する。約2時間必要。

第2回

【授】社会問題の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第3回

【授】社会問題について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第4回

【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第5回

【授】経済問題の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第6回

【授】経済問題について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第7回

【授】経済分野の事について通訳・翻訳の訓練を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第8回

【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第9回

【授】国際関係の新聞記事を題材として学ぶ。
【前・後】事前は、予定の内容を予習して単語を覚えておく。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第10回

【授】国際関係について中国語の討論会を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第11回

【授】国際関係の事について通訳・翻訳の訓練を行う。
【前・後】事前は、単語を調べて討論の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第12回

【授】社会・経済・国際の問題についての中国語発表会
【前・後】事前は、各自分担の主題について発表内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第13回

【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。
【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第14回

【授】就職面接会を擬えて会話訓練を行う。
【前・後】事前は、各自の分担役について対話の内容を準備する。事後は、よく復習して練習する。約2時間必要。

第15回

【授】中国語検定試験あるいはHSKの指導と模擬試験を行う。
【前・後】事前は、中検あるいはHSKの資料を収集する。事後は、各自の経験をよく総括する。約2時間必要。

第16回

【授】定期試験
【前・後】事前は総合復習をする。約2時間必要。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							20
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							20
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							

成績判定は主に定期試験の結果に基づくが、授業での活躍と出席状況も成績判定の重要な根拠になる。定期試験の成果や問題点を総括して後に説明する。

教科書参考書

中国の大学で使用される教科書、新聞記事などを導入する。

各種の中国語辞書を活用する。

受講に当たっての留意事項

辞書を持参すること、予習・復習をすること。

聞く、話す、読む、書くなど総合的な面で、積極的にコミュニケーションを取り組み、中国語の実践能力を高めるよう努力する。日本語の使用を最小限にする。

学習到達目標

新聞記事やテレビニュースなどを徐々に理解するようになり、それをめぐって意見交換をするように挑戦する。実践訓練の中で、中国語検定試験4~3級やHSK3~5級の合格を目指す。

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習